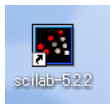


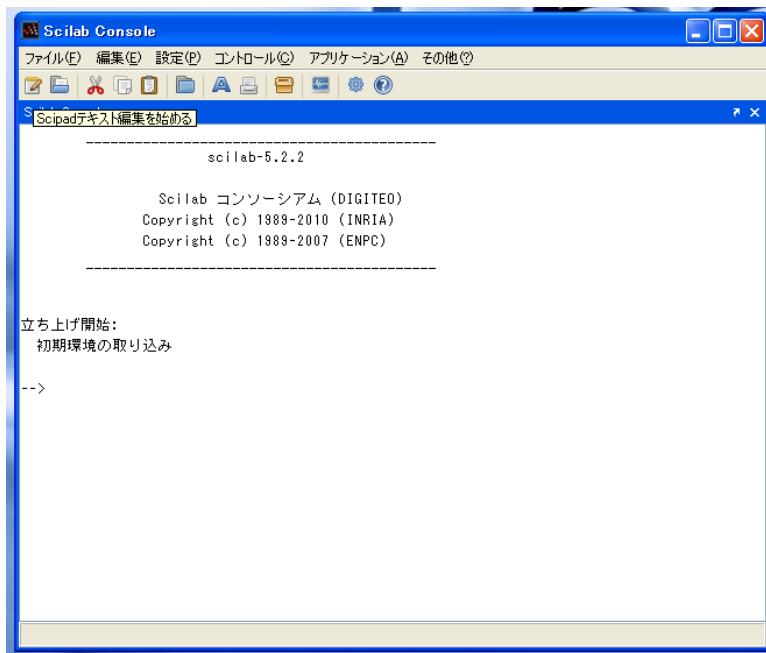
Scilab テキストエディタ(Scipad)を使った Scilab コードの実行


Scilab にはプログラミング支援のために、テキストエディタ(Scilab テキストエディタ)が付属している。このメモでは、Scilab テキストエディタを使った Scilab コード(プログラム)の実行方法について簡単に説明する。

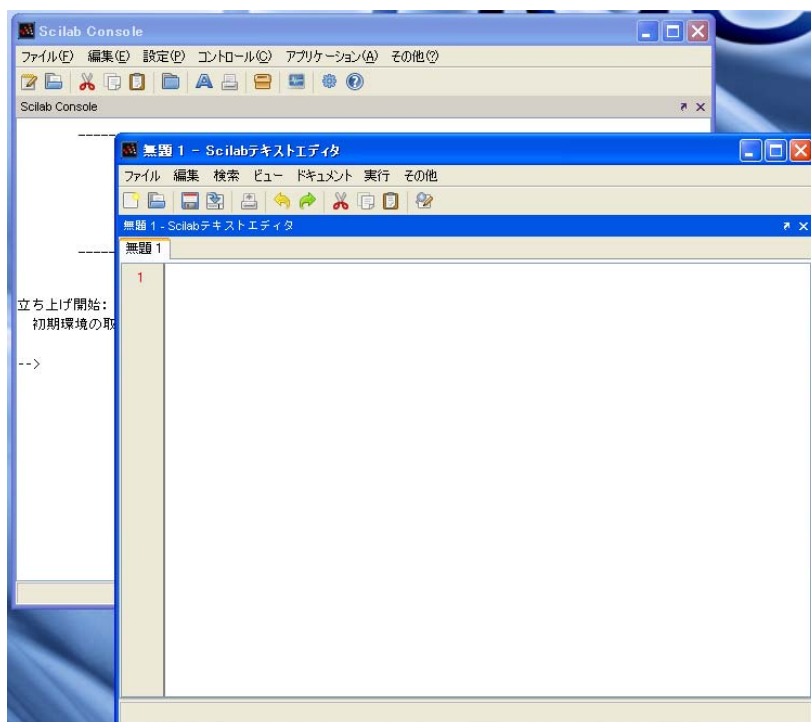
- ① Scilab のアイコン



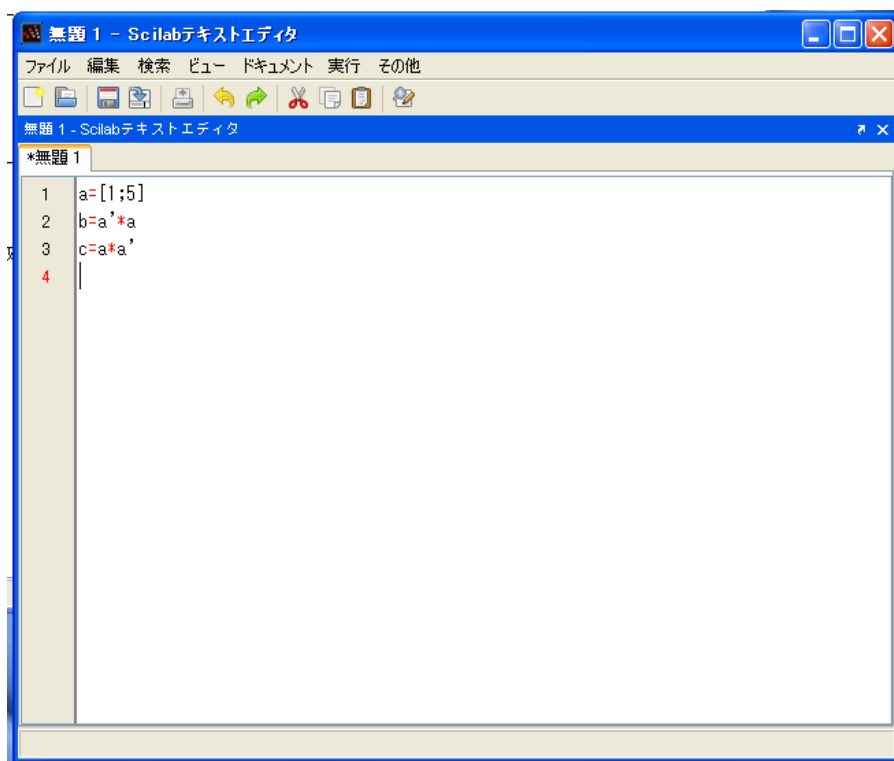
をダブルクリックすると次のコンソール・ウィンドウが表示される。



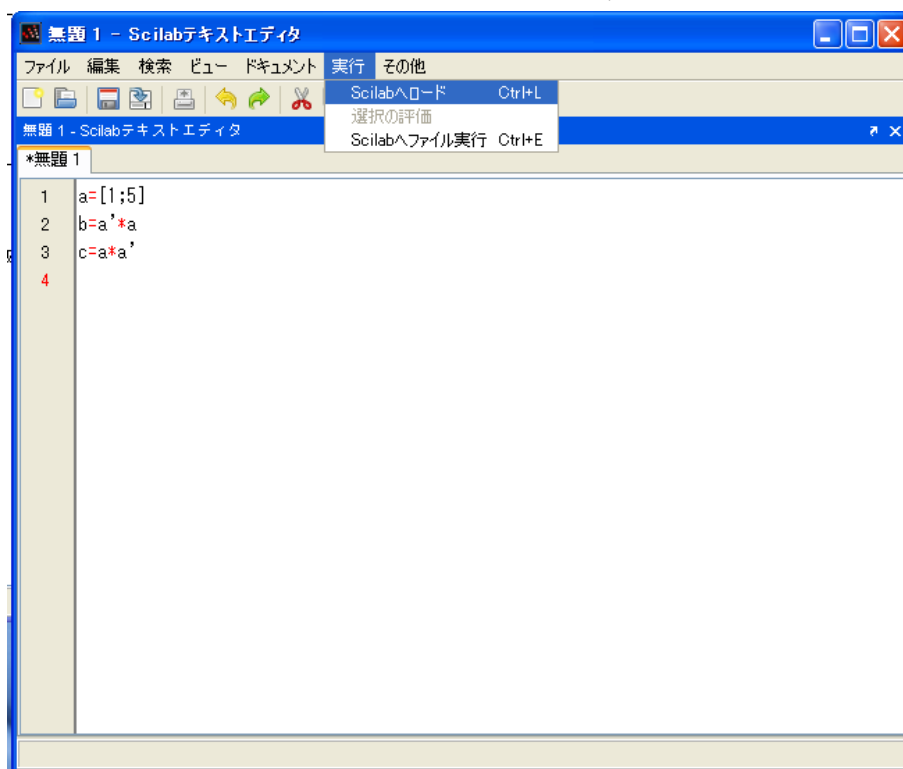
- ② Scilab コンソールの左端のアイコン  をクリックすると Scilab テキストエディタウィンドウが表示される。



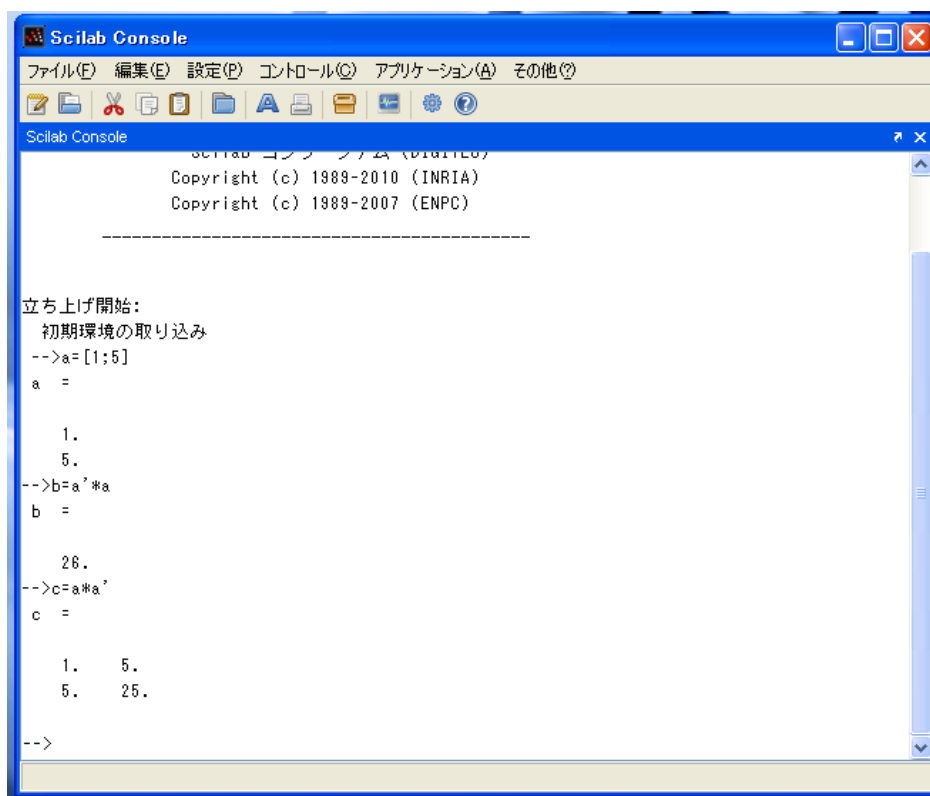
- ③ Scilab テキストエディタのエディット・タブにコード(プログラム)を書き込む。



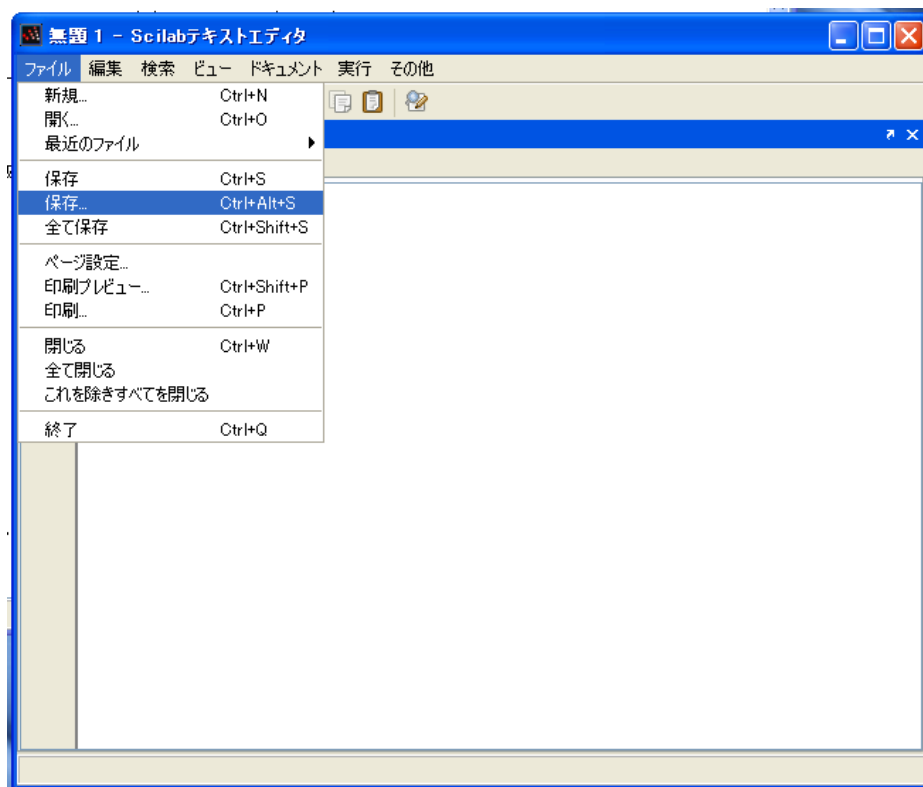
- ④ プログラムの入力が終わったら、メニューバーの **実行** > **Scilab ヘロード** を選択しクリックする。



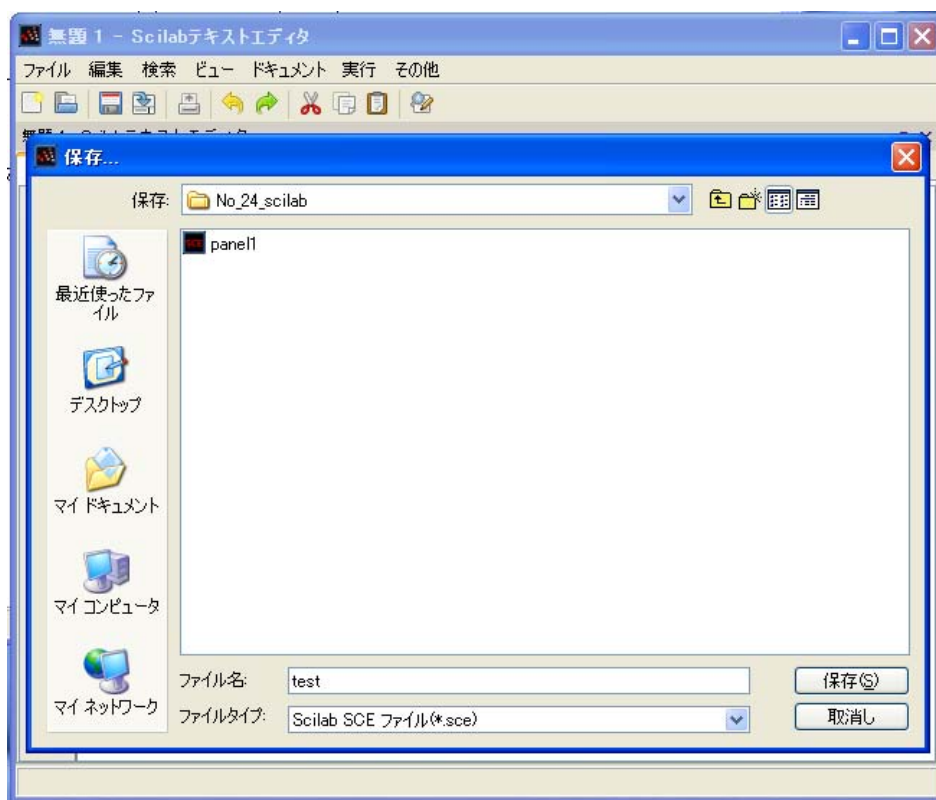
- ⑤ コンソール・ウィンドウに戻ると、Scilab テキストエディタに入力したコードが実行され、結果が表示される。



- ⑥ Scilab テキストエディタに入力したコード(プログラム)を保存するには、メニューバーから **ファイル>保存…** を選択しクリックする。



- ⑦ すると、保存ファイル指定ウィンドウが表示されるので、保存するファイルのファイル名を入力し、保存(S)ボタンをクリックする。保存されるファイルには(.sce)という拡張子が付く。



概説は以上である。なお、Scilab の使い方等に関しては、

北本卓也 (2009), 『Scilab プログラミング入門』, ピアソンエデュケーション

赤間世紀 (2009), 『Scilab 入門講座』, 電波新聞社*

大野修一 (2009), 『Scilab 入門』, CQ 出版*

などの解説書が参考になる。(*印は総合図書館学習用図書に配架されている)